

## 金曜日の会 報告

- 1 期 日 9月25日
- 2 場 所 倉敷労働会館
- 3 参加者 AS, O, TA, YO
- 4 内 容

『海のいのち』解釈 (YO)

『注文の多い料理店』解釈・映像 (AK)

『側転』映像 (AS)

『一つの花』解釈 (AS)

○授業で何をしたいのか、何を問題にしてどこを根拠に解決していくのか、こうしたものがないと、授業はだらだらと流れます。また、対立は、教師の解釈と子どもの反論との違いや、子どもの意見がAかBかと割れた時に生まれるものです。そういったことを教師は、きちんと頭に入れて置かなくてはならないと改めて思いました。『海の命』の解釈では、『海のめぐみだからなあ。』が話題になりました。父はこの一言を誰に言ったのか？ どのような会話に対する一言なのか？ 海のめぐみに対立する言葉は？ 自分の頭になかった着眼点に驚かされ、夢中で考えました。

○『注文の多い料理店』では、魔法にかかり始めたのはどの段階かという問題を切り口にして、2段落と3段落との関係を考えました。『だいぶの山おく』と『あんまり山がものすごい』違いは何なのか？ ものすごくどうなのか？ やはり山おくに関する様々な角度からのイメージをもつことが大切です。

○『側転』の映像かは、すいあげの動きを演習的に学びました。指先・目線・膝などの部位が意識的に使われなくてはなりません。ただ揺れているだけではないのです。(YO)